

「足が重い」「足がだるい」「足がむくむ」「足にこぶがある」「こむら返りがする」といった症状はありませんか？

下肢静脈瘤について

下肢静脈瘤とは、下肢の静脈が拡張、蛇行する病気です。

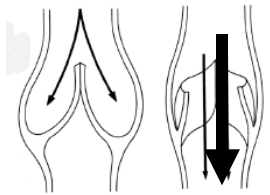
原因は？

静脈には弁があり、この弁が壊れると、静脈の流れが悪くなります。静脈がよどんだ状態になり、「こぶ」ができたり、足が重くなります。立ち仕事の方や、出産を経験した女性に多いです。

ずいぶん前からあるし、ほっておくとどうなるの？

放置すると、皮膚が黒ずんだり、硬くなったり、静脈瘤に血栓（血の塊）ができて炎症を起こすことがあります。ひどくなると皮膚に潰瘍ができません。こうなると何ヶ月も入院が必要になります。

静脈弁



正常

異常
逆流あり

検査方法は？

血管エコーです。痛みを伴いません。時間は、二十分から三十分です。いたんだ静脈の場所が分かります。



血管エコー検査

治療の効果は？

静脈の流れがよくなり、足が軽くなります。また、「こむら返り」もなくなります。「こぶ」がなくなり、長年履けなかったスカートや半ズボンが履けるようになります。

治療方法は？

●保存療法
治療用ストッキングを着用します。

●硬化療法
硬化剤という薬で静脈をかためる治療です。外来で可能です。ただし、二から三年して再発することがあります。

●静脈剥去術
（ストリッピング手術）

こわれた静脈をとってしまう方法です。1日の入院で手術可能です。麻酔をして行いますので、痛みは殆どありません。最近では日帰りでも行っています。硬化療法と違って再発の可能性は低いです。

治療の方法は静脈瘤の程度と患者様の御希望により変わってきます。



手術後



手術前

岡山赤十字病院 心臓血管外科

中西 浩之

TEL (086)222-8811

ご心配な方は、心臓血管外科外来を受診してください。電話でのご相談でも結構です。